

日本海側拠点港「京都舞鶴港」の機能強化について

【担当省庁：国土交通省】

1 コンテナ・フェリー・クルーズ機能の更なる強化

京都舞鶴港について、国直轄事業により以下の強化を図っていたきたい。

【舞鶴国際ふ頭：国際海上コンテナ機能の強化】

- ① 国際海上コンテナ機能の強化のため臨港道路（上安久線）の早期完成（全体事業費約59億円）と工事発生残土を活用した舞鶴国際ふ頭第2期整備の整備支援をお願いしたい。

【前島ふ頭：国際フェリー機能の強化】

- ② 国際フェリー機能の強化のため、前島ふ頭岸壁の国際フェリー運航に資する改良工事（全体事業費約22億円）について、工事着手（基本設計等）をお願いしたい。

【第2ふ頭：外航クルーズ機能の強化】

- ③ 外航クルーズ機能の強化のため、第2ふ頭において大型クルーズ船受入に対応したドルフィン設置をお願いしたい。
また、C I Q 手続の円滑化・迅速化をお願いしたい。

京 都 府 の担当課	商工労働観光部 経済交流課 (075-414-4844) 商工労働観光部・建設交通部 港湾局 港湾企画課 (0773-75-0192)
---------------	--

■機能強化の方向性

	要望箇所・内容
舞 鶴 国際ふ頭	▶ 国直轄で整備中の舞鶴国際ふ頭への臨港道路（上安久線）の早期完成 ▶ 臨港道路上安久線の工事発生残土を活用した舞鶴国際ふ頭の第2期整備（埋立て）を直轄による支援
前島ふ頭	▶ 前島ふ頭の3号岸壁の老朽化対策に併せた国際フェリー就航に資する改良工事を国直轄事業により着手 ▶ 日中韓間のシャーシ相互通行（車体規格統一）の実施
第2ふ頭	▶ 直轄事業で整備中の第2ふ頭3・4号岸壁機能強化工事の早期完成 ▶ 直轄事業による2号岸壁先端へのドルフィン設置 ▶ C I Q（税関、出入国管理、検疫）手続の円滑化・迅速化に向けた人員確保

■京都舞鶴港のクルーズ・コンテナ・貨物取扱量は大幅に増加

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	
クルーズ船寄港回数	3	7	15	8	17	
コンテナ 取扱量 (TEU)	合 計	5,902	6,906	9,082	8,620	11,493
	輸出	1,933	2,768	3,553	3,471	4,901
	輸入	3,969	4,138	5,529	5,149	6,592
貨物取扱量 (千トン)	合 計	11,998	11,081	10,752	11,039	10,829
	内貨	6,642	6,378	6,168	6,226	6,129
	外貨	5,356	4,703	4,584	4,813	4,700

▶ クルーズ船寄港の平成29年度は約40回を予定
▶ 平成28年度のコンテナ取扱量は平成24年度の約2倍（H28/H24=195%）
▶ 貨物取扱量は平成22年度から7年連続で10,000千トン超え

■臨港道路上安久線 事業の概要

全体事業費 約58.6億円（㊟以降の残事業費 約55.5億円）
平成30年度の工事内容 用地買収、詳細設計完了、土砂受入に必要な潜堤築造
工 期 平成19年度～30年代前半

事業内容	～29年度	30年度	31年度	32年度～
	地元調整 測量調査	用地買収 詳細設計 潜堤築造	埋文調査 用地買収 潜堤築造	道路工事 土砂受入
事業費	3.1億円	30年度以降 55.5億円		

